

ドローンことはじめ

— 手動飛行から自動飛行まで —

愛媛大学大学院農学研究科森林環境管理学サブコースでは、森の国の再生を目指した森林づくり、人づくり、地域づくりを実践しています。その一環として、森林資源管理に関心のある学部3年生を対象に、この夏、ドローンに関する実践力講座を企画しました。

この講座を通して

- ① 安全にドローンを扱う方法を知り
 - ② ドローンの林業活用についての全体像をつかみます。
- 是非、ご参加ください。

期間：**2017年8月23日（水）～8月24日（木）** 1泊2日

場所：愛媛大学農学部附属演習林（宿泊は演習林施設利用）

集合・解散は愛媛大学農学部樽味キャンパス

対象：森林資源管理に関心のある学部3年生

定員：最大15名程度

料金：5,000円（保険・宿泊・食費込）

講師：竹島喜芳（中部大学准教授：森林環境管理学サブコース非常勤講師）

持物：山に入れる格好

使用機材：（ドローン）DJI社 市販ドローン、Pixhawk/APM搭載自作機
（自動航行）DJI社GS Pro, Map Pilot, Mission Planner



プログラム：

初日	12:00	愛媛大学樽味キャンパス集合 → 演習林へ移動	
	13:00	ICT/IOTと林業	(講義)
	15:00	ドローンの基本操作	(実習)
	19:00	シミュレーターを使ったドローン操作	(実習)
二日目	08:30	自動航行について	(講義)
	09:30	演習林の空撮実習	(実習)
	11:00	データ処理について・振り返り	(講義)

講師からのメッセージ：

ここ数年、ドローン技術の発達と普及には目覚ましいものがあります。ドローンは、GPSがフィールドで仕事をする人の必携ツールになったように、しばらくすると森林資源管理を行うときには欠かせない道具になりそうです。この講座を通して、マルチコプター・固定翼・VTOL等、近年登場してきたドローンがこれから森林資源管理にどう使われていくかを参加者とともに考えたいと思います。

問い合わせ先：

愛媛大学大学院農学研究科
森林環境管理学サブコース

コース長 山田容三

電話：089-946-9665

メール：yamada.yozo.fi@agr.ehime-u.ac.jp